

5議案可決 会長に江田氏

令和4年度 県P定期総会



5議案を可決した県P定期総会

令和4年度佐賀県PTA連合会定期総会が6月4日、佐賀市の県立美術館ホールで開かれました。県内各校のPTA・育友会から代表議員2人ずつが出席。本年度の基本方針案や努力目標案、役員人事案など5議案を審議し、いずれの議案も賛成多数で可決しました。佐伯玄一郎会長(唐津地区、相知小)の退任に伴う新会長には江田明弘氏(鳥栖地区、基里中)が2年ぶりに選任されました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年度までの2年間は書面議決で実施しており、会員が一堂に会する総会は3年ぶりの開催となりました。委任状も含めて451人が出席し、総会は成立しました。

今回提案したのは、1号議案「令和3年度事業報告並びに決算報告、監査報告」、2号議案「令和4年度役員選出に関する件並びに紹介」、3号議案「令和4年度基本方針案、努力目標案について」、4号議案「令和4年度事業計画案並びに予算案について」、5号議案「佐賀県PTA連合会会則の一部改正について」の5議案です。

2号議案は、江田新会長、園木勝彦新副会長(鳥栖地区、弥生が丘小)、嶋久宏之新副会長(佐賀市、新栄小)をはじめ、理事19人、評議員39人が承認されました。4号議案では、23096万8587円の本年度県PTA連合会予算案、月別事業計画案などが認められました。5号議案の会則の一部改正は、県P事務局の移転に伴う住所変更です。

佐賀県PTA表彰では、児童生徒の福祉増進や県教育の向上に寄与した9団体29個人が表彰されたほか、特別表彰(中富賞)では佐伯会長ら3人が表彰されました。併せて県PTA新聞コンクールで最優秀賞に輝いた中原賞PTAと山内中PTAに表彰状が贈られました。

また来年度、佐賀県で開催される

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年度までの2年間は書面議決で実施しており、会員が一堂に会する総会は3年ぶりの開催となりました。委任状も含めて451人が出席し、総会は成立しました。

今回提案したのは、1号議案「令和3年度事業報告並びに決算報告、監査報告」、2号議案「令和4年度役員選出に関する件並びに紹介」、3号議案「令和4年度基本方針案、努力目標案について」、4号議案「令和4年度事業計画案並びに予算案について」、5号議案「佐賀県PTA連合会会則の一部改正について」の5議案です。

2号議案は、江田新会長、園木勝彦新副会長(鳥栖地区、弥生が丘小)、嶋久宏之新副会長(佐賀市、新栄小)をはじめ、理事19人、評議員39人が承認されました。4号議案では、23096万8587円の本年度県PTA連合会予算案、月別事業計画案などが認められました。5号議案の会則の一部改正は、県P事務局の移転に伴う住所変更です。

佐賀県PTA表彰では、児童生徒の福祉増進や県教育の向上に寄与した9団体29個人が表彰されたほか、特別表彰(中富賞)では佐伯会長ら3人が表彰されました。併せて県PTA新聞コンクールで最優秀賞に輝いた中原賞PTAと山内中PTAに表彰状が贈られました。

また来年度、佐賀県で開催される

「第68回日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会(九P佐賀大会)」の大会スローガンとシンボルマークが発表されました。スローガンは「SAGAそう 子どもの未来 見直そう PTAの力」。シンボルマークは鳥栖中学校3年の深川祐衣さんの作品が選ばれました。(3面にインタビュー)

九P佐賀大会 マークなど発表



表彰される 佐伯玄一郎会長



鳥栖中3年の深川祐衣さんの作品が九Pのシンボルマークに選ばれた

県PTA新聞コンクール 最優秀校



「なかばる」



「おやつばめ」



九Pスローガン SAGAそう 子どもの未来 見直そう PTAの力

子育て応援メッセージ

ともに学び! ともに成長!

- つながろう! 元気にあいつ 笑顔でね
- 育もう! 食卓でつくる 家族の絆
- 受けとめよう! 子どもの心メッセージ
- 伝えよう! 感謝の気持ち ありがとう
- 見守ろう! 地域ぐるみで 輪になって
- 話し合おう! ルールを守って 情報モラル

丸田塾 maruta

34年の信頼と実績 県内に6教室!

お父さんお母さんも、お兄ちゃんお姉ちゃんも、そしてあの先輩も!みんな丸田塾でがんばった!

夏期講習

あきらめないで、大逆転できる!

小・中・高 目標に応じた各コース
全教科指導 部活や部活動との両立もできます
英検・漢検・数検 の受験もできます
オンライン英会話

11名の経験豊富な**正社員講師**が指導します

2022年 合格実績

県立高... 108名
致遠館中... 20名
九大(医)・筑波大
早稲田・上智大 他

お問合せは 電話または ホームページから



令和4年度 PTA 基本方針・努力目標

スローガン 「つなごう 未来のために！」

基本方針

【日本PTA全国協議会綱領】

公益社団法人日本PTA全国協議会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育、家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、児童生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与することを目的とする。

佐賀県PTA連合会は日本PTA全国協議会の綱領と同じ目的を持つた県下の単位PTAの集合体です。市郡連PTA(単位PTA)との相互の連絡調整を図り総意を形成し、行政や関係諸団体と協議研究を行い、連携して子どもたちの健全育成とPTA会員の資質向上及び教育の振興を図ることを本務としています。

次代の社会を担う子どもたちが健やかに育成され、社会の形成に資するため教育環境への改善に主体的に取り組む、時代の変化に合わせた運営の在り方を求め、社会教育団

体の一員としての責任を果たしていただきます。佐賀県教育委員会との包括協定をさらに進め、連携協力を図りながら、佐賀県内のPTAをまとめる組織としてその存在意義を明確にし、組織運営の在り方など活性化方策を構築し、その普及啓発に努めます。経験や人に出会うことから様々な

気づきや認識が生まれる中、先人の知恵に学ぶ家庭、学校、地域のつながりを大切に、保護者も共に学び未来を切り拓き、幅広く力強い連携と融合を深めてまいります。

努力目標

1 組織・運営

会員の意識と連帯感の向上を図る。

2 PTA活動の充実と活性化

県内PTAとの親睦と交流を深め共に学ぶために必要な研究活動や情報発信を行い、市郡連PTA活動の支援につとめる。

3 家庭・地域との連携と地域活動の活性化

教育の原点は家庭にあることを再認識し、家庭や地域社会の教育力を高めるために学校家庭・地域社会がそれぞれ、適切な役割分担を果たし、相互に理解・連携につとめる。

4 家庭と学校の連携強化

学校における働き方改革などに鑑み、家庭や学校教職員がその役割に応じた本来行うべき職務を全うできるように家庭教育の質の向上を推進する。

5 情報・資料提供の推進

PTA活動に関する情報・資料収集及び情報提供を行うなど、会員の学習と共通理解を深める。佐賀県PTA新聞・ホームページの充実を図る。

6 会員や児童生徒の安心感を確保する取り組み

単位PTA活動を円滑且つ安全に行うためにPTA安全互助会事業を行う。また、会員及び児童生徒の日常生活の安全・安心感の充実のため、小中学生総合保障制度加入を奨励する。

令和4年度 役員・理事・評議員

【役員】

会長



江田 明弘 (基里中)

副会長



西 靖幸 (山代東小)

副会長



園木 勝彦 (弥生が丘小)

副会長



蟻久 宏之 (新栄小)

副会長(母親代表)



佐伯美由紀 (田代中)

副会長(校長会代表)



深草 光明 (兵庫小)

監事

居石 晋弥 (鳥栖西中)

富田 祐一 (伊岐佐小)

池田 智博 (御船が丘小)

【鳥栖地区】

理事

園木 勝彦 (弥生が丘小)

評議員

津川 典善 (基山中) 古賀 満宏 (鳥栖北小) 大石 友和 (基里中)

【三養基郡】

理事

糸山新一郎 (中原小)

評議員

最所 正和 (北茂安中) 鳥取 輝彦 (中原小) 庄嶋美奈子 (上峰小)

【神埼地区】

理事

樺木 剛 (仁比山小)

評議員

緒方 孝至 (千代田中) 坂井 みか (西郷小) 秋吉 洋志 (仁比山小)

【佐賀市】

理事

蟻久 宏之 (新栄小)

評議員

古川 智章 (鍋島中) 青山 泰江 (赤松小) 有田 喜文 (新栄小)

【小城市】

理事

田中 慎也 (三日月中)

評議員

松尾 直人 (堀川小) 吉田 安宏 (晴田小) 小部 愛美 (戸川観瀨校)

【多久市】

理事

野中加恵子 (東原庫舎中央校)

評議員

小柳 英樹 (東原庫舎西浜校) 吉村 亮 (東原庫舎東部校) 小侍かおり (東原庫舎西浜校)

【唐津地区】

理事

緒方 哲哉 (外町小)

評議員

力久 賢一 (鏡山小) 寺田 幸雅 (玄海みらい学園) 山崎 啓史 (湊中)

【伊万里市】

理事

西 靖幸 (山代東小)

評議員

金氏貴世子 (黒川小) 大神 尚基 (大川小) 田代 和洋 (二里小)

【西松浦郡】

理事

廣 知徳 (大山小)

評議員

長 浩司 (有田中) 小嶋 貴之 (有田中) 廣 啓 (大山小)

【武雄市】

理事

麻生 尚平 (武雄中)

評議員

松尾 走 (北方中) 國平 浩史 (橘小) 緒方富士人 (若木小)

【杵島郡】

理事

友田香将雄 (白石中)

評議員

八木 修司 (六角小) 川崎 朗 (有明中) 藤瀬 紀幸 (江北中)

【鹿島市】

理事

長友 篤志 (能古見小)

評議員

森 真一郎 (西部中) 三原 滋木 (東部中) 田中 雄弥 (明倫小)

【嬉野藤津】

理事

上戸 良大 (大浦小)

評議員

山口新太郎 (吉田小中) 古賀 信哉 (多良小) 中島 明俊 (多良中)

【母親副委員長】

菱岡 智美 (西郷小)

筒井 慎子 (西有田中)

【新聞編集委員長】

瀬戸健太郎 (鳥栖中)

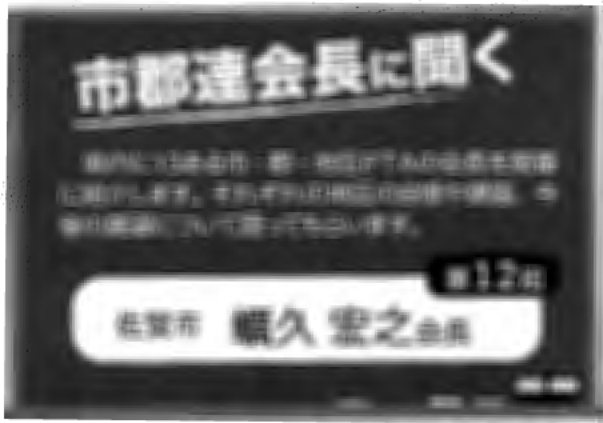
【事務局】

理事 長谷川義高

事務 坂井 範子 宇井 幸子

佐賀県私立中学高等学校協会 私立高校オープンスクールのお知らせ! 私学を均か上手! 未来を上手に!

Table with 9 columns: 龍谷, 佐賀清和, 佐賀女子, 佐賀学園, 北陵, 敬徳, 弘学館, 東明館, 早稲田佐賀. Rows include course details, dates, and contact information.



かきひさ・ひろゆき

出身単Pは新栄小。保護者や地域の大人との交流を通じた子どもたちの健全育成のために、異学年交流・国際交流・農作業体験などに取り組む「新栄あいらふくらぶ」で活動している。最近の趣味は「そば打ち」(まだ修業中)。子どもは高校3年と小学6年。46歳。

子どもファーストの視点で

◆PTA役員を受けたきっかけは何ですか。実際に役員をやってみた感想は?

長女が小学校高学年になるまで、地域活動やPTA活動を全くしていなかったため、反省の気持ちも込めて、小学校PTAの副会長から始めました。元々、恥ずかしがり屋な自分でしたが、PTAや地域の方との交友の輪が徐々に広がり、人間的にも体格的にも大きく成長できました(笑)

◆佐賀市PTA協議会の自慢できるところはありますか?

これまで佐賀市PTA協議会を支えてこられた先輩方の功績を引き継ぐ、明るく楽しい役員が多く、本部役員会では白熱の議論が交わされ、会議が夜遅くまで続くことです(笑)。

協議会としては毎年、会長研修会、女性副会長研修会、ミニバレーボール大会、校長会や市教委との研修会など、保護者同士の研修や交流の場を数多く開催しています。また、中学校ブロックごとの交流事業を行うことで、小学校同士の横のつながりや中学校との縦のつながりを大切にしています。コロナ禍においては、オンラインでの会議や研修会を積極的に開催し、時代に合わせた対応をすることができました。

◆市Pを運営していく上で課題はありますか?

単Pの数が多く地域性も多様であるので、まずはしっかりと各単Pや各ブロックからの意見を耳を傾けること、そして、代議員会や会長会などでも、会員の皆さんが本音で議論できる場を醸成していきたいと考えています。

◆今後の市Pの活動をどのように進めますか?

この2年間、コロナ禍で活動が十分にできていない部分があるので、そこを少しでも取り戻せるよう、また、子どもファーストの視点での取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。

(聞き手・森 由香理編集委員)

第68回 九P佐賀大会

シンボルマークなど決定



九P佐賀大会のシンボルマークを考案し、表彰を受けた深川祐衣さん



深川さん(鳥栖中)最優秀賞 佐賀の名物で支え合い表現

来月10月27、29日、佐賀市の「SAGAアリーナ」を主会場に開かれる「第68回日本PTA九州ブロック研究大会佐賀県大会」のスローガンとシンボルマークが決定しました。6月4日に佐賀市の県立美術館ホールで開かれた県PTA総会で発表され、九P佐賀大会に向けた気運を高めました。

スローガンは「SAGAそう子どもの未来 見直そう P T Aの力です。県内各単Pから約90点の応募があり、県P理事らによる審査を経て選ばれました。子どもたちの現状と環境をしっかりと見つめ、その未来のためにPTAが本来持っている力を見直していく」との思いが込められています。

シンボルマークは県内の小学生から約370点の応募があり、鳥栖中3年深川祐衣さんの作品が最優秀賞に選ばれました。深川さんの作品は、佐賀の名物であるムツゴロウ、イカ、パルンなどを「SAGA」の文字に織り込み、握手している様子が「みんな仲良く協力して支え合っている」と表現しています。

スローガン、シンボルマークとも今後、九P佐賀大会の印刷物やHPなどに掲載される予定で、大会の盛り上げにひと役を買っていきます。

インタビュー

シンボルマークを作成した深川祐衣さん(鳥栖中3年)に、マークに込めた思いや受賞の感想を聞きました。聞き手松信真冬県P新聞編集委員



表彰状を受け取る深川祐衣さん

◆最優秀賞を受賞したときの気持ちは?

美術部の先生から受賞したと聞いたのですが、驚いたけどとても嬉しかったです。

◆このシンボルマークにはどんな思いを込めましたか?

佐賀を分かりやすく紹介したかったので、マークを描く前に佐賀の有名な場所や佐賀の良いところをインターネットで検索しました。ムツゴロウとパルンとイカは佐賀の代表的なもので、それを混ぜ込んで描くことで、佐賀の魅力を伝えられたと思います。握手しているのはみんなが仲良く支え合っていることを表現しています。

◆絵を描くのは好きですか?

学校では美術部の部長をしており、絵を描くのは大好きです。特にアニメの呪術廻戦が好きで、キャラクターをそのまま描くこともありますが、自分で考えたオリジナルのキャラクターを描くこともあります。アニメキャラとオリジナルキャラは半分半分くらいで描いているかな。

◆どんな佐賀大会になってほしいと思いますか?

九州各地から多くの人に来てもらい、賑やかな大会になってほしいと思います。

錯覚のふしぎに「なんで? どうして?」

どかんって農

事実と異なって見えてしまう現象 さっかく「錯覚」

「丸なのに鏡に映ると四角?」「ボールがすべり台をのぼっていく?」思わず目をうたがってしまうふしぎな作品がたくさん! ふしぎな「どかんって?」(=どうなってるの?)「ワールド」を体験しよう!

夏休みの自由研究にぴったり!

主催/佐賀新聞社 企画/フォーシーズン

お問い合わせ 佐賀新聞プランニング TEL.0952-28-2151 (平日9:30~17:30)

当日 通常券	一般	1,000円	ペア チケット	通常券より100円お得!	グッズ 付き チケット	グッズが付いて100円お得!		
	高大生	800円		一般 + 小中生		1,400円	一般 高大生 小中生	通常券 + 400円
	小中生	500円						

※未就学児は無料 ※障害者手帳又は指定難病医療給付者証の所持者は無料(介助者は有料) ※佐賀新聞Begin会員、佐賀県立博物館美術館メール会員は前売り価格



子育て・親育ち **うちの家訓**

子育てのヒントになるような、それぞれの「家訓」を紹介します。



宮原家の家訓

親しき仲にも礼儀あり

宮原大地(武雄小育)

「これが家訓です」と自信を持っては言えませんが、「親しき仲にも礼儀あり」という言葉を口から大切にしています。具体的には、気持ちの良い挨拶や家事を率先して行うことを、子どもたちに教えています。あつこには、心を開いて相手に近づく」という意味があるそうです。相手の目を見て、「おはよう」「ありがとう」と言えるようになってほしいです。

我が家には中学3年の長男と小学6年の長女がいます。子どもたちがこれからは、家族や友人、一緒に学び働く仲間を大切に、信頼関係を築いていけるよう、一緒に成長していきたいと思っています。

藤木家の家訓

正々堂々たるべし!

藤木卓一郎(三日月中育)

我が家の家訓の第一は「全てにおいて正々堂々たるべし」という事です。

人や物事に相対峙した時に、やましいことが無い状態で向き合えるようにしたい。そんな事を自戒とともに厳しく子どもたちをしつけています。やましなければ人を嘘をつきます。やましなければ不安になります。やましなければ鈍重になります。そ

のような心の姿勢で人や物事に向き合うのは健全ではない、皆が望む結果は得られません。心身ともに最高の状態で人や物事に向き合うからこそ最高のパフォーマンスができます。

そうめろつと努めてきた子どもたちと囲む食卓は常に賑やかで本当に楽しいひと時です。私は両親から良い家訓を受け継いだとありがたく思っています。

父親日記

佐賀新聞社の教育担当記者がつづる、教育や子育てをテーマにしたコラムです

vol.6 やっぱり欲しい

娘の誕生日プレゼントに家庭用ゲーム機「ニンテンドースイッチ」を買おうかどうか。娘との駆け引きを半年前にここで書いた。「学年×15分、毎日勉強すること」を条件にした「それならいいから」とあっさり断られ、「こんなことなら学年×10分にしてあげようか」と結んだ。

今回はその続編。小4の娘の欲しいが気持ちはくすぶり続け、友だちの家で遊ぶたびに膨らんでいく。コラムを覚えていて「学年×10分、40分ならできると言い張る。こちらは話のオチにしたけれど、新聞に書いたことがうそにならないように言行一致は守りた

い。まずは1カ月続けられたら買う、と約束。新たに「勉強した時間以上にゲームをしない」を条件に加えた。

「ニンテンドーにむけてがんばる」と書いたチェックシートを手作りし、現在2週間ほど継続中。娘の調査では「10人中9人ぐらいは持っている」そうで、クラスメートには娘の応援団もいるという。家庭学習が習慣になればとの一心で、もはや誕生日は関係ない。「買ったからお父さんと遊ぶ」と娘。母さんのお手伝いをしたらいんじゃない」だ。

(佐賀新聞社 宮崎勝)



大浦小学校は佐賀県最南端の「月の引力が見える町」といわれる大良町にあり、有明海や多良岳といった自然豊かな環境に恵まれています。

本校でも新型コロナウイルスの影響により、これまで普通だった行事や活動が実施できなくなっていました。本年度に入り、徐々に緩和の兆しが見えつつありますが、まだまだ安心できる状況ではありません。

そんな中、PTAでは役員を中心に先生方や保護者の協力をいただき、通学路の安全点検を実施しました。以前この新聞(第613号)でもご紹介いただきましたが、本校までの通学路の中には危険を感じる場所も多く、子どもの安全を守るために何か必要なのか考える機会になればと計画しました。

みんなで守る子どもの安全

大浦小PTA会長 平田 潤貴



点検は、運動会終了後の子どもたちの緊急時集団下校訓練に合わせに行いました。保護者の皆さんは子どもと一緒に通学路を歩き、役員は各ポイントで見回りを行いました。また校長先生には青色防犯パトロールを行っていただきました。

参加者も多く、これを機に子どもの安全をみんなで考え、PTA活動につなげていけたらと思っています。そして、これからも保護者や地域と協力し合い、子どもたちが安心して通学できる活動をしていきたいと思います。

佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やお子様とご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



この制度の詳細内容はこちらからも確認いただけます。

AIG損害保険株式会社『お子さまのための総合保障制度』 <https://riskfinder.jp/school/>



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先: 0120-228-553 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店: 株式会社コーリン) 受付時間: 平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 Chubb損害保険株式会社

[令和4年度版: S-220487 (2023-03)]